

平成21年度 北栄町教育委員会の事務に関する教育行政評価委員による点検評価表

A=目標以上に達成できた
B=目標どおり達成できた
C=ほとんど、全く達成できない

事業名	実施概要	総合評価	委員の意見
・就学前教育の充実へのシステムづくり ○長期社会体験研修	・北条小学校教諭が3年間、北条幼稚園で研修。	A B C	・3学期制なら、毎学期1名の年間3人もあり。 ・他者へ成果をどう伝えているのか。 〔回答・説明〕 ・長期社会体験研修の研修期間は、1年間である。 ・中部地区の幼稚園教員、保育士、小学校教職員の合同研修会(H21.11.16)で成果を発表。 ・普段から小学校へ行った折に、連絡会などで研修のことを話題にする。 ・継続実施が望ましい。この研修成果を、小学校でどのように還元されたのかを教えていただきたいと思う。 〔回答・説明〕 ・保育所からの成長を捉えて、継続して伸びていること、新たにできるようになったことを的確に捉えて評価した。 ・1学期に2つの保育所との交流会を企画した。 ・保育所での「遊びきる体験」を生かして、学習の中で様々な活動場面を設定した。特に生活科では、保育所での遊びをスケールアップさせた。 ・保育所での研修を、小学校での職員研修や中小研の生活科部会の中で発表した。・小学校の広報誌で幼児育研修について紹介した。
○半日保育士体験	・北条小学校教職員10名が北条小校区の4保育所・園で、大栄小学校教職員5名が大栄小校区の4保育所で夏休み中に保育士体験。 H19年度からの3年計画で、北条・大栄小全教職員が体験済み。	A B C	・上記事業との効果の違いの明確化(歩み頼りもあり) 〔回答・説明〕 ○長期社会体験研修 ・年間を通しての5才児の育ち等を間近にみることで、小学校入学直前の子どもの姿から小学校入学後の指導のあり方を見直すことができた。 ・年長児の保護者とも日常的に話したり学級懇談でも話をしたりすることで、保護者の不安が軽減された。 ○半日保育士体験 ・保育士と小学校教職員が親しくなるきっかけになり、以後、お互いに声をかけやすくなった。 ・保育所の生活や子どもの姿を知り小学校での指導を見直すことができた。 ・保育士もたくさんの先生から刺激がもられた。 ・今後も継続実施を望む。 ・参加者の満足度が高く、有意義な体験だと思われる。
○同日公開参観日	・6月9日実施:参観者1041人(保育所:226人、幼・小・中815人) ・11月12日実施(北条中校区):参観者591人(保育所:123人、幼小・中468人) ・11月17日実施予定(大栄中校区):参観者345人(保育所:146人、小・中199人)	A B C	・時間帯、場所の制約下でも見学できたのか。(他学校区との比較は可能か) ・代替日を設ける事は不可能か。 〔回答・説明〕 ・なかなか全部の保幼小中を見学された方はないが、少しずつ見学先を増やしたり、わたり歩かれる人もでてきた。同日(一斉)ということの基本にし、できるだけたくさんの方に見学いただくよう早めに広報誌・ホームページ・町内放送・チラシで知らせている。またH21年度は、公共の場所にもチラシを置いた。 ・現状の様に保護者及び町内外の人に非常に高いと思れる。 ・今後も継続していただきたい。 ・参加者の満足度が高く、関心も高いので、課題点を改善してさらによい事業にしてほしい。

平成21年度 北栄町教育委員会の事務に関する教育行政評価委員による点検評価表

A=目標以上に達成できた
B=目標どおり達成できた
C=ほとんど、全く達成できない

事業名	実施概要	総合評価	委員の意見
・家庭教育の充実 ○子育て学習講座	・家庭教育の充実を図るため、保育所から小・中学校の児童生徒を持つ親を対象に、参観日を利用しての子育てに関する学習会を町内各保育所、園、学校で開催した。	A B C	・各講座の要旨を全体で共有できる(蓄積)とよいのでは。 ・継続すべき、ただし方法は検討する必要がある。 ・参観日を利用すべき(親側) ・夜地域に出かけて行く学習会はどうか。 ・参観日を利用しての学習会ということで、参加率が高く、満足度も高かったように思われる。
○青少年街頭補導事業	・平成21年度から青少年育成北栄町民会議の事業として実施している。特別補導として夏休み期間中、北条地区8回、大栄地区8回実施。平日は、倉吉地区補導センターと連携し月2回、町内や市内を巡回した。	A B C	・継続すべきである。 ・地域で自主的にされている方と歩調を合わせる？ ・現状では満足度が得られないのでは？ ・方法論では高くなると思われる。 ・今後も継続実施していただき、青少年の非行化防止や不良防止の一助にしていきたい。
○放課後子どもプラン	・子どもの居場所づくり関係者による事業の企画、運営方法の検討等を行うため委員会(次世代育成支援対策地域協議会と兼ねる)を2回開催。 ・子どもほくえい塾の実施	A B C	・継続すべきと思う。 ・18事業という多彩な内容で、参加した子どもたちの満足度が高く、また、指導者としての大人も子どもたちから元気をもらっている等の声があり、相互に良い効果をもたらしていて、よい。

平成21年度 北栄町教育委員会の事務に関する教育行政評価委員による点検評価表

A=目標以上に達成できた
B=目標どおり達成できた
C=ほとんど、全く達成できない

事業名	実施概要	総合評価	委員の意見
・地域文化とのふれあいを深める教育の推進 ○ 転入教職員の町内めぐり	・4月3日 10時～12時30分実施 合計24人参加(小学校12人、中学校12人) 由良駅、北栄町図書館、鳥取藩由良藩倉跡、青山剛昌ふるさと館、北条砂丘風力発電所、北条八幡宮を町のマイクロバスで巡った。	A (B) C	・授業・活動への利用事例集の整備 ・各施設等見学から利用して欲しいポイント集 〔回答・説明〕 ・参加者のアンケートでは、利用事例を具体的には、きいていない。(活用した教科、単元名のみ) ・町内めぐりの際、町内の名所、偉人、祭りなどに関する写真、説明を入れた資料を配布している。あわせて、町内マップ、観光パンフレット等も配布して、関心をもち、自ら探訪してもらうきっかけ作りをしている。 ・新任の教職員・・・出来れば着任すぐでなく1ヶ月後の方が成果があるのでは。 ・満足度を計るには半年とか1年かかるのでは？ ・高いと思われるが、視察先の選定等が必要かも？出来れば介護施設等も加えれば・・・ ・今後も継続していただき、行き先・実施時期・授業や活動への活用法などを考慮して、より有意義な町内めぐりにしてほしい。
・地域文化の鑑賞機会の提供 ○ 青少年劇場巡回講演	・小学生対象の芸術鑑賞 ○ 10月13日 北条小学校 人形劇「潜水海賊キャプテングック」 参加者：児童412人、教職員22人、保護者0人 計434人 ○ 11月13日 大栄小学校 児童劇「はじめに見えたもの」 参加者：児童403人、教職員25人、保護者13人 計441人	A (B) C	・出来れば継続を望む。 ・現状 ・数年後には実感するのでは。 ・せっかくの機会なので、保護者も、もっと参加できるような啓発や日程の検討を希望する。 〔回答・説明〕 ・公演の日程は、月曜日～金曜日の間でしか希望できず、保護者の方が参加しやすい土日の開催は出来ないようになっています。ただ、保護者の方への開催のお知らせについては、学校を通じて、十分に行いたいと思います。
○ 青少年劇場巡回講演	・中学生対象の芸術鑑賞教室 ○ 大栄中学校：10月27日「音楽・日本の調べ」開催 参加者：生徒212人、教職員18人、保護者13人 計243人 ○ 北条中学校：10月28日「 " 」開催 参加者：生徒241人、教職員25人、保護者0人 計266人	A (B) C	・出来れば継続を望む ・数年後には実感するのでは。 ・せっかくの機会なので、保護者も、もっと参加できたら・・・と思う。(開催日時等の工夫) 〔回答・説明〕 ・公演の日程は、月曜日～金曜日の間でしか希望できず、保護者の方が参加しやすい土日の開催は出来ないようになっています。ただ、保護者の方への開催のお知らせについては、学校を通じて、十分に行いたいと思います。

平成21年度 北栄町教育委員会の事務に関する教育行政評価委員による点検評価表

A=目標以上に達成できた
B=目標どおり達成できた
C=ほとんど、全く達成できない

事業名	実施概要	総合評価	委員の意見
○ 民俗芸能伝承	・地域の伝承芸能、祭礼の記録保存を随時行っている。	A B C	・データベースの利用状況・予定は 〔回答・説明〕 ・現在はCDに画像やデータを保存している。保存が目的であるため、利用について特に計画していることはないが、必要に応じデータの提供は行なっている。 ・保存活動のやり方では高くなるのでは ・今後も地域の伝承芸能文化・祭礼をしっかりと保存していただき、町民にもそれらを知る機会を提供していただきたい。
○ 芸術文化活動	・5月30日 大栄農村環境改善センター アザレアのまち音楽祭2009「稲毛麻紀ピアノコンサート」 入場者 308名。	A B C	・出来れば継続を。 ・ボランティア運営だから満足が得られると思う。 ・参加者の満足度100%ということで、素晴らしいコンサートだったことが伺える。更なる発展を大いに期待する。
○ 歴史民俗資料館での展示	・これまで、5企画展示を開催。 (文字が語る古代展・世界の貝殻展・陶工 生田和孝展・書の文化 道祖尾良苑展・刀鍛冶 道祖尾広賀展)	A B C	・参加者の満足度が高かったことが伺えるので、様々な企画を計画していただき、PRしていただいて、親子や家族で入館して学ぶ機会を増やしてほしい。

平成21年度 北栄町教育委員会の事務に関する教育行政評価委員による点検評価表

A=目標以上に達成できた
B=目標どおり達成できた
C=ほとんど、全く達成できない

事業名	実施概要	総合評価	委員の意見
・保、幼、小、中の連携の充実 ○教員の人事交流	・各中学校区で、小学校教諭が中学校へ、中学校教諭が小学校へ人事異動した。	A B C	・参加者の意見・声等も聞かせていただけると、評価の参考なる
○小・中連携強化事業 (北条中学校区)	・北条小・中学校で年間を通じて児童生徒、教員が継続的に実践交流を行っている。	A B C	・今後も継続していただき、できれば、中央育英高校生との交流も検討して頂きたい。 〔回答・説明〕 ・育ちや学びは連続性がある。小学校卒業時、中学校卒業はもとより、高校卒業時をイメージしながら、小・中での教育を進めていきたい。
○レインボープラン (大栄中学校区)	・大栄小・中学校及び中央育英高校の児童生徒、教員が、継続的に実践交流を行っている。	A B C	・今後も継続実施していただきたい。

平成21年度 北栄町教育委員会の事務に関する教育行政評価委員による点検評価表

A=目標以上に達成できた
B=目標どおり達成できた
C=ほとんど、全く達成できない

事業名	実施概要	総合評価	委員の意見
○町学校教育研究協議会	・幼稚園、小・中学校教員が、共通の課題について実践研究を行っている。	A B C	・先生方の感想や、どのように実際の学習・生活指導等に生かしかたを教えていただきたい。 〔回答・説明〕 ・一例をあげると、家庭学習の定着をはかるために、小中共通の「家庭学習のすすめ」(家庭学習の仕方等が記入してある)を作成した。
・家庭教育の充実と青少年の健全育成 ○家庭の教育力アップ事業	・子どもの生活習慣と学習習慣の定着を図るため、子を持つ親を対象にした家庭教育講演会を2回実施し、青少年地域活動の異年齢間の子どもを対象にした体験・交流学习を夏休み中に北条会場で3回・大栄会場で3回、町外で2回実施した。	A B C	・両習慣の定着はどのように判断しているのか(継続事業なので) 〔回答・説明〕 ・アンケートから判断すると、家庭学習の定着が不十分。「早寝早起き朝ごはん」は定着してきたが、次のステップとして、朝ごはんの内容等の指針も必要と考える。 ・継続を望む。 ・PTA及び保護者(一般も含める) ・参加(出席)された方は満足であると思われる。 ・貢献度を高くするには参加者を増すように、それによって高くもなるし低くもなる。 ・家庭教育講演会の参加者数が伸び悩んだ理由を分析し、せっかくのよい内容ならばもっと多くの方に参加してもらえるように検討してほしい。 〔回答・説明〕 ・参加者数が伸び悩んだ理由としては、開催日の近くに対象者が重なるような講演会が、PTAや保育所で実施されたことがひとつの要因として挙げられます。今後は、日程や開催時間などを十分に考え、たくさんの方に参加して頂くようにしたいと思います。
○21世紀をつくる青少年の育成	・平成21年からNPO法人まちづくりネットに事業委託 内容 中高校生サークル「夢雲(ムーン)」の活動支援 定例会 毎週水曜日 会員10人 活動はボランティア活動・研修など	A B C	・卒業して行った者の現状はどうなっているのか(フォロー) ・参加者増加へのプレゼンテーションが必要 〔回答・説明〕 ・今年は地元で就職する生徒に対しては、町青年団への加入を勧めている。青年団にも情報提供し、誘ってもらっている。この「夢雲(ムーン)」の活動はTCCに多く取りあげてもらっているが、今後はチラシの配布やTCCでの加入推進企画番組などを計画し、加入者の増加に努めたい。 ・現状の他に一般ボランティアも巻きこみ、地に付いた青少年を育む ・非常に高いと思う、少人数のため、増員するべき手段を構築する。 ・参加者数(会員数)をいかに増やしていくか。学校や地域にも声かけお願いしたりして、青少年のリーダー育成をはかってほしい。

平成21年度 北栄町教育委員会の事務に関する教育行政評価委員による点検評価表

A=目標以上に達成できた
B=目標どおり達成できた
C=ほとんど、全く達成できない

事業名	実施概要	総合評価	委員の意見
・学校教育の充実 ○ 少人数学級	・小1・2年は30人、中1は33人、その他の学年は町の基準で少人数学級編制を行っている。	A B C	・今後も継続実施していただきたい。
○ 特別支援教育補佐員の配置	・特別に支援の必要な児童生徒に対して、学習等の補佐をする。	A B C	・今後も継続実施していただきたい。
○ 学校司書補佐員の配置	・学校図書館の利用や学習での活用を図るために、司書補佐員を配置した。	A B C	・学校毎の図書の貸し出し冊数はいくらか。 ・各学年で1人当たり平均貸し出し冊数は。 〔回答・説明〕 平成21年度図書購入冊数(平成20年度末蔵書冊数) ・貸出冊数(H21.12末現在) 北条小学校 675冊(9,444冊) ・27,947(67.1冊/人) 大栄小学校 700冊(9,132冊) ・36,260(88.4冊/人) 北条中学校 750冊(11,629冊) ・6,015(23.9冊/人) 大栄中学校 555冊(9,719冊) ・5,045(23.8冊/人) ・司書補佐員と子どもたちとの関わりあいの中で、子どもたちの読書量がさらに増えることを望む。

平成21年度 北栄町教育委員会の事務に関する教育行政評価委員による点検評価表

A=目標以上に達成できた
B=目標どおり達成できた
C=ほとんど、全く達成できない

事業名	実施概要	総合評価	委員の意見
・国際化に応じた教育の充実 ○英語指導助手の配置	・外国語指導助手を北条中学校区、大栄中学校区に各1名ずつ配置。主として中学校に勤務しているが、週に1日は小学校へ、半日は幼稚園または保育所を訪問している。	A	・ALT自身の感想は
		②	(回答・説明) 別紙
			・これからも継続してほしい。 ・子どもたちにとっては一番身近な異文化体験なので、もう一方の中学校区のふれ合う機会を作ったり、町内在住の他の外国人との交流会ももってほしい。
		C	